

令和5年12月25日 スポーツ教室の様子

元オリンピックマラソン代表の増田明美さん、元Jリーガーの深川友貴さんを講師に迎え、「かんたんなからだづくり運動」を行いました。

マラソン解説やナレーションでもお馴染みの、増田明美さんの丁寧なご指導のもと、自然にきれいなフォームで走る走り方を教えていただきました。走ることを通して、からだを動かす楽しみ、みんなで活動する楽しみを十二分に感じることができました。深川さんも一人ひとりに声をかけてくださり、教室を盛り上げてくださいました。

増田さんに走り方を褒めていただき、照れていたお子さん、がぜんやる気がでてきた大人、気がつけば、マラソンのサーキットトレーニング、リレーをみんなで一緒に自然に楽しんでいました。たくさんの笑顔とたくさんの走行距離が生まれていました。

参加者との交流の時間もたっぷりとっていただきました。握手、写真、質問などにも快く引き受けてくださいました。増田様、深川様、ありがとうございました。

また、本校生徒、横浜緑園高校の生徒・先生、放課後支援事業所の子どもたち・スタッフの方、保護者の皆様、ご参加ありがとうございました。



令和5年12月25日 地域公開シンポジウムの様子

スポーツにおけるインクルーシブな取組みについて、熱い意見交換が行われました。Fukatomo Inclusive Lab. を主宰する、元Jリーガーの深川友貴さん、神奈川県障がい者スポーツ協会 山本浩専務理事、瀬谷区スポーツ協会 土居義彦副会長、山本圭子PTA会長、野中裕美校長をシンポジストに迎え、それぞれの方が行っている取組み、今後取組んでいきたいこと、**思い**をお話しいただきました。

また、会場からは、活動の場を探したり知ったりするための情報へのアクセスや、連れて行って一緒に活動してくれる人の確保の難しさが話に出ました。加えて、スポーツ以外の音楽や創作活動といった分野でもインクルーシブな取組みを広げていきたいとの話も出ました。

課題の解消や取組みの充実を目指し、スポーツや芸術を通して、みんなと一緒に活動できる日が近づいた気がするシンポジウムでした。

最後に、みんなで「本気のラジオ体操」を行い、体を動かす楽しさも再確認しました。

本校児童生徒、保護者、地域の皆様、ご参加ありがとうございました。

